



2015年5月11日

孤独死の増加、ソーシャルメディアの発達…
【個人】と【社会】の“つながり”を
フィリピンに生きる先住民族の事例から見つめ直す
EDAYA 『わたし』と『社会』のリ・デザイン展 開催 (5/31-6/7)

「マイノリティーのエンパワーメント」をテーマに、アジアの地方に隠れている才能や資源を生かしたブランド構築のロールモデルづくりをする EDAYA (エダヤ) は、フィリピンの山岳先住民族「カリंगा」の世界観を発信することを通じて、「個人」と「社会」のつながり（関係性）を見つめ直す展覧会『わたし』と『社会』のリ・デザイン展 -EDAYA JOURNEY 展 vol.2-を2015年5月31日～6月7日の8日間にわたって開催いたします。

「EDAYA JOURNEY 展」は、フィリピンの山岳先住民族「カリंगा」のアイデンティティ確立をサポートするために調査・ワークショップ等を行う「EDAYA JOURNEY プロジェクト」の一環として開催するものです。2回目となる今回は、今の「わたし（個人）」と「社会（世の中のあり方）」の関係性を見つめ直すことをテーマに、カリंगा族約50名へのインタビューから見える「カリंगाの世界観」の展示や、様々な分野で活躍する多彩なゲストを迎えたトークイベントなどを行います。

▼カリंगा族のおばあちゃん

■本展の見どころ

- ① フィリピンの山岳先住民族「カリंगा」約50名への取材映像・写真
- ② 多彩なゲストを迎えての日替わりイベント
- ③ カリंगाの一人・エドガー氏 (EDAYA・共同代表) とつくる「竹楽器ワークショップ」



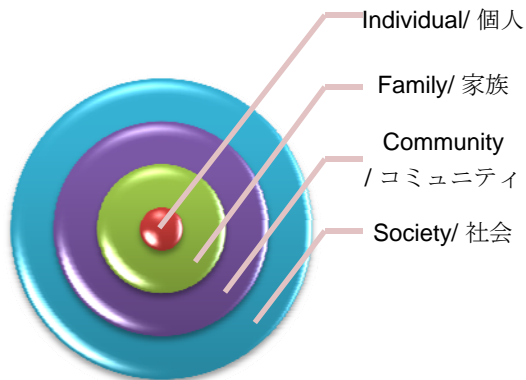
その他、失われつつある「カリंगा」の生き方にインスピレーションを受けたデザインと、その土地に受け継がれてきた精緻な職人技のコラボレーションによるジュエリー、また竹楽器の展示・販売も行います。

※詳細は3ページ以降をご覧ください

本件に関するお問い合わせ先
EDAYA JOURNEY 展 広報担当：
山下彩香 (EDAYA 共同代表/ディレクター&デザイナー)
E-MAIL: info@edaya-arts.com

■開催背景

例えば後を絶たない「孤独死」に見られる「個人」と「社会」の隔絶、ソーシャルメディアの発達による「個人」と「社会」の直結化など、相反するような関係性が複雑に絡みあう日本社会。本展覧会にお越しくくださる皆様に、カリंगाの世界観を知っていただくことが、「個人」と「社会」のつながりを考え直すきっかけとなればという想いで企画しました。



■ご取材いただけること

※報道関係者の方はどの日替わりイベントについても無料でご参加いただけます。

※本展のご取材にご興味のある方は下記のお問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

- ・展示・日替わりイベント・ワークショップの撮影
- ・参加者へのインタビュー
- ・EDAYA 共同代表 山下彩香、エドガー・バナサンへのインタビュー
などご希望にあわせてご対応させていただきますのでご相談くださいませ。

■開催概要

会 期 : 2015年5月31日(日)～6月7日(日)(8日間) 11:00-18:00

※日替わりイベントの開始時間については別紙をご覧ください。

会 場 : 六本木ストライプハウススペース (東京都港区六本木5-10-33)

入場料 : 無料 (日替わりイベント、ワークショップは有料)

主 催 : EDAYA JOURNEY 展実行委員会

共 催 : 六本木ストライプハウスギャラリー

H P : <http://edaya-journey2.strikingly.com>



本件に関するお問い合わせ先
EDAYA JOURNEY 展 広報担当 :
山下彩香 (EDAYA 共同代表/ディレクター&デザイナー)
E-MAIL: info@edaya-arts.com

■展示会詳細

【フィリピンの山岳先住民族・カリंगाへの取材映像 展示】

およそ 50 名へのインタビューを通して見えてきたよりディープな「カリंगाの世界観」を発信します。

【日替わりイベント】

ゲストのみなさん自身がそれぞれの活動フィールドで、どのように社会との関係性を紡いできたのかをご紹介します、来てくださる皆さんにとってのインスピレーションとなるような構成を考えました。尚、参加費はすべて本展の経費に充てられます。

(ゲストについては次ページ以降をご参照ください。)

【竹楽器制作ワークショップ】

EDAYA の共同代表エドガー・バナサン氏が竹楽器バリンビン、サッグアイプの制作指導にあたります。

- ・日時：随時（ただし、日替わりイベントの時間帯は除く）
- ・時間：1 時間程度（制作＋演奏体験）
- ・費用：バリンビン 2000 円、サッグアイプ 1000 円

【EDAYA ミュージアムショップ&カフェ】

失われつつある「カリंगा」の生き方にインスピレーションを受けたデザインと、その土地に受け継がれてきた精緻な職人技のコラボレーションによるジュエリー、また竹楽器の販売をします。カフェも併設しております。

本件に関するお問い合わせ先
EDAYA JOURNEY 展 広報担当：
山下彩香（EDAYA 共同代表／ディレクター&デザイナー）
E-MAIL: info@edaya-arts.com

(日替わりイベント 詳細)

日時	タイトル	ゲスト	内容	定員	参加費
5/31 (日) 17:00～ 20:00	オープニング レセプション	音楽/ Charito 他 フード/ 高田大雅 協力/ 東京-マ ニラ・ジャズ& アーツフェス ティバル	展覧会オープニングを飾る本レセプションパーティーは、今回、日本初招聘となる EDAYA フィリピンスタッフ Wryneth を含む展覧会実行委員会メンバーによる挨拶にはじまり、フィリピンと日本の架け橋となり、音楽を通じ社会へ素晴らしい貢献をされている、ジャズ歌手 CHARITO さん達による華やかなミュージックパフォーマンスが続きます。一晩限りのスペシャルジャズライブです。その後、TED×Tokyo 等のフードも提供するシェフ高田大雅氏によるディナーを、様々な分野からお集まりくださった皆様とご歓談いただきながら、お楽しみいただきます。	50名	前売り 4500円 当日 5000円 ※フー ド+ 2dinks 付き
6/1 (月) 18:30～ 20:30	アフリカに出 会って考えた 一私と社会の つながり	トーク/ 森田怜・安村侑 希子 (Salmons) トーク・フード/ 越出水月 (シェ アトレード)	アフリカと自分たちなりのやり方で関わってこられたお三方をゲストにおよびし、クロストークを行います。まずは、「アフリカに、心奪われる瞬間をプロデュース」をコンセプトに活動されている Salmons より、森田氏と安村氏。「途上国の「ヒト・モノ・コト」をソーシャルシェア」をミッションに掲げるシェアトレードより越出氏。本イベントでは、アフリカ社会という切り口から、日本や自分たちのことまで考えることができるような、そんな時間を生み出すことができればと思っています。アフリカンなスイーツをいただきながら、日本からアフリカへ、そしてアフリカから日本へ、思考の旅を一緒にしてみませんか。	40名	前売り 3000円 当日 3500円 ※アフ リカン なお菓 子+ 1dink 付き
6/2 (火) 18:30～ 20:30	企業人兼発明 家 古賀氏の社 会へのまなざ し	トーク/ 古賀敬司 (ANA バーチャル ハリウッド 2014 ディレク ター)	ゲストの古賀氏は、長年 ANA の航空機の整備に従事し、ご自身の少年時代からの夢であった「音の出る植物」の概念を植物スピーカーの発明という形で実現され、特許も取得されています。本イベントでは、そんな古賀氏がどのように、ご自身と仕事、発明、を結び付け、社会との結びつきを考えてこられたかをご紹介いただくとともに、発明品である植物スピーカーのデモンストレーションも行います。	40名	前売り 2500円 当日 3000円

本件に関するお問い合わせ先
EDAYA JOURNEY 展 広報担当：
山下彩香 (EDAYA 共同代表/ディレクター&デザイナー)
E-MAIL: info@edaya-arts.com

6/3 (水) 18:30～ 20:30	無形文化に携 わる3者から の地域社会の 現代的課題へ の提案 ～日本 からアジアへ シェアすべき 知恵とは?～	トーク/田村民 子(伝統芸能の 道具ラボ)、小岩 秀太郎(全日本 郷土芸能協会)	本イベントのゲストは、伝統芸能の道具ラボ主宰田村氏と全日本郷土芸能協会職員かつ行山流舞川鹿子躍伝承者である小岩氏。2013年の第1回EDAYA JOURNEY展でも大好評であったトークショー念願の第2回目の開催です。(第1回の様子はコチラをご覧ください。) 今回も、フィリピン、東北、歌舞伎と能(固有の土地をもたない)と異なる立場から無形文化に携わる3者がそれぞれの立場からダイナミックなトークを広げる構図はそのまま、今回は終着点として、地域社会の現代的課題の解決を設定し、そこに向かってディスカッションを繰り広げます。	40名	前売り 2500円 当日 3000円
6/4 (木) 18:30～ 20:30	学生が、アジア で広めたり・デ ザイン-学生 目線で感じた 世界に生きる 人々の個人と 社会の関係性	プレゼンター/ -学生NGO HaLuz -学生団体フェア トレードドリッ パックプロジ ェクト -Bela Virino -学生団体 BelaVirino	日本からアジアに赴いて活動をしてきた学生たちは、どのような「わたし」の想いをもって現地に行き、その活動のなかでどのように人々と関わり、「社会」に何を投げかけたのか。それぞれの活動や想いを学生たちにプレゼンテーションしていただき、その成果や課題を、きてくださる観客のみなさまとシェアします。さらに、アジアで地に足のついた取り組みを実践している素晴らしい方々を審査員として迎え、コメントやアドバイスをいただくとともに、会場を交えたクロストークから、私たちと社会とのよりよい関わり方を探ります。 審査員/ 木田直美 様 (2011ミス・ユニバース・ジャパンTOP5) 高濱宏至 様 (NPO法人Class for Everyone代表理事) 黒柳英哲 様(リンクルージュン株式会社 代表取締役) 下垣 圭介 様(gooddo株式会社 代表取締役)	60名	前売り 2000円 当日 2500円
6/5 (金) 18:30～ 20:30	アラブ音楽 Night -アラブ ヴァイオリン 奏者&歴史研 究 木村氏の社 会へのまなざ し	トーク・音楽/ 木村伸子(アラ ブヴァイオリン 奏者)	本イベントのゲストは、アラブヴァイオリン奏者の木村伸子氏。演奏家でもあり、アラブ音楽や歴史の研究をされていらっしゃいます。その2つの立場を通して、氏がどのように音楽と向き合い、それを通してどんなメッセージを世の中に投げかけようとしているのか、本イベントを通してじっくり伺うことができればと思っています。イベントでは、氏のプレゼンテーションに続き、フィリピン カリंगा	40名	前売り 3000円 当日 3500円

本件に関するお問い合わせ先
EDAYA JOURNEY 展 広報担当：
山下彩香 (EDAYA 共同代表/ディレクター&デザイナー)
E-MAIL: info@edaya-arts.com

			<p>族の伝統竹楽器の記録や次世代への継承も行う EDAYA より代表の山下との対談も行います。伝統と変化。伝統的な音楽も時代と共に変化し続けています。でも、その中の何を大切にし、どう世の中に伝え、届けていくのか。難しいテーマだからこそ、時間をかけて氏の考えを伺うとともに、深くテーマを掘り下げた対談をできればと思っています。なお、当日は演奏もさせていただきます。</p>		
6/6 (土) 13:00~ 15:00	女子大生起業家がビジネスを通して社会に伝えたいこと	トーク/城宝薫 (株式会社テーブルクロス代表取締役社長)	<p>本イベントのゲストは、女子大生起業家の城宝薫氏。大学に通いながら、昨年「株式会社テーブルクロス」を設立し、代表取締役社長に就任。飲食店を予約すると人数分の給食を途上国の子どもたちに届けることができるアプリ「テーブルクロス」を制作し、2015年3月正式にリリースされました。そのパワフルな活動の裏の素顔「わたし」に迫るとともに、そんな彼女がどのようにビジネスを通じて「社会」とコネクトしようと考えたか、展覧会全体のコンセプトである「わたし」と「社会」のリ・デザインのコンテクストにのせつつ、ここでしか聞くことのできない深い話も伺うことができたかと思っています。</p>	40名	前売り 2500円 当日 3000円
6/6 (土) 16:00~ 18:00	オープンデータ×エシカルデータをとおりながら-	トーク/榎本真美 (Code for Tokyo)	<p>本イベントでは、テクノロジーやオープンデータを活用した社会の課題解決や地域活性について、国内外の事例から学び、ワークショップ形式で参加者のみなさんとイノベーションを起こす方法を一緒に考えます。オープンデータとは、保有するデータを、機械可読な形式かつ二次利用可能なルールで広く公開することです。「公開」という視点ではなく、「利用」という視点でとらえることで、例えば、「エシカル」なファッション産業であれば、透明性向上やブランドへの信頼を高めるだけでなく、新しい価値創造が期待されます。EDAYAは、本展覧会を通じて、いわゆる“エシカル”な分野で活動する人々には、おそらく初となるオープンデータへの試みに挑戦します。</p>	40名	前売り 2000円 当日 2500円

本件に関するお問い合わせ先
EDAYA JOURNEY 展 広報担当：
山下彩香 (EDAYA 共同代表/ディレクター&デザイナー)
E-MAIL: info@edaya-arts.com

6/7 (日) 14:00~ 16:00	ネパールへ届け！私の想い、音楽とともに。	トーク/斎藤友貴 音楽/ 河野泰之 協力/ SHARE-a-HOPE	展覧会最終日のイベントはネパール地震の被災地へ想いをはせる特別版です。ネパールへ関わりのある方をゲストにお呼びし、展覧会のテーマである社会とご自身の関係性を、ネパールという国と触れることでどう紡いでこられたかということをお話いただくのは、もちろんですが、大きな災害がおきてしまったこの国へ、少しでも多くの方に思いをむけていただけるように、被災地の状況を教えていただいたり、鎮魂の音楽の中で被災地へ思いを向ける時間を設けたりしたいと思っています。	50名	前売り 3000円 当日 3500円 ※うち 500円 はネパール震災への寄付
-------------------------------	----------------------	--	--	-----	---

*さらなる詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<http://edaya-journey2.strikingly.com>

■EDAYA JOURNEY プロジェクトについて <http://edaya-journey.com>

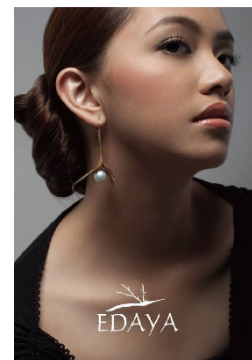
EDAYA JOURNEY プロジェクトとは、EDAYA から派生したプロジェクトで、EDAYA の根幹であるマイノリティーのエンパワーメントの達成のために、特に大切にしている現地の人々のアイデンティティの確立をサポートするための調査・ワークショップ等の活動の総称です。

【第1回 EDAYA JOURNEY 展 Soul of Kalinga Music】

失われつつあるフィリピンの山岳先住民族「カリंगा」の無形文化や伝統音楽の現状を調査・記録、映像や写真で発表し、さらに日本人の反応を村へ還元する一連の取り組みを行いました。 <https://readyfor.jp/projects/edaya/announcements/2808>

■EDAYA について

「マイノリティーのエンパワーメント」をテーマに、アジアの地方に隠れている才能や資源を生かしたブランド構築のロールモデルづくりを目指しています。失われつつあるフィリピン・北ルソン地方の山岳先住民族の生き方にインスピレーションを受けたデザインと、その土地に受け継がれてきた精緻な職人技のコラボレーションによるジュエリーや竹楽器を展開しています。



本件に関するお問い合わせ先
EDAYA JOURNEY 展 広報担当：
山下彩香（EDAYA 共同代表／ディレクター&デザイナー）
E-MAIL: info@edaya-arts.com